

平成26年度 阿賀野市国語部 活動報告

部長 森田 睦子

1 研究主題

「読み取る力をつけるための指導の工夫」

2 研究の概要

4月22日（火）第1回国語部会 組織の編成・役割の決定、事業計画の作成

6月10日（火）第2回国語部会 講演会

講演テーマ「読み取る力をつける指導の工夫について」

講師 浅野 秀之様（新潟県立教育センター指導主事）

11月25日（火）第3回国語部会 レポート研修会、来年度の組織編成

3 研究の実際

（1）第2回国語部会（講演会） 12名参加

新潟県立教育センターの浅野秀之先生より「読み取る力を付ける指導の工夫について」と題してご講演いただいた。

<ご講演から>

PISA調査で出題された問題から、今、求められている学力が「自分の考えを、根拠をもって語ることのできる力」であることをお話しいただいた。その力を付けるための実践例を、「どうぶつ園のじゅうい」の模擬授業形式で具体的に教えていただいた。また「音読のテスト」などの教室ですぐに実践できる技や、Web診断問題の活用法を教えていただき、部員から分かりやすく、とても勉強になったという意見が多く出された。「講演会后『単元を貫く』『文を書かせるときに根拠を書かせる』ことを日頃から意識して授業づくりをするようになった」という意見も部員から出るようになった。

（2）第3回国語部会（レポート研修） 11名参加

教室で日常的に行っている「授業の小技」をレポートで持ち寄る研修会を行った。「児童に間違いを指摘させる活動」「グループで行う書き順ゲーム」「音読のバリエーション」「文章〇×クイズ」など、準備が少なくすぐに活用できる様々なアイデアが集められた。持ち寄ったレポートは、表紙を付け、一冊の冊子にまとめる形で配付した。研究会などでは得られない貴重な「毎日使える技」を交換する機会ができ、部員から「役に立つ」「宝物になった」という感想が寄せられた。

4 成果と課題

第2回国語部会では、浅野秀之様より、グローバルスタンダードの視点から、今日の教育で求められている力について、最新の情報を教えていただき、子どもたちが社会に出たときに必要となる力を確認することができた。専門の方のお話を聞く機会は、授業力向上にとっても有効であると感じた。

第3回国語部会では、第1回国語部会での意見から、今年度初めて「授業の小技レポート研修」を行った。部員にとっての負担が少なく、また得るものが大きい研修になったと思う。来年度も、各部員が持っている有効な指導法を交換できる場があるとよいと考える。